

# 感染症罹患後の予防接種実施間隔

疾病名	主症状が治まってからの接種間隔
インフルエンザ、手足口病、伝染性紅斑 突発性発疹、ヘルパンギーナ 咽頭結膜熱、溶連菌感染症 乳児嘔吐下痢症、異型肺炎	2週間
風疹、流行性耳下腺炎、水痘	2～4週間
麻疹、百日せき系疾患、ヘルペス	4週間
川崎病	3ヶ月
熱性けいれん	単純性 → 2～3ヶ月 複合性 → 専門医と相談
てんかん	・コントロールされ、最終発作後2～3ヶ月で体調安定ならば実施 ・ACTH、 $\gamma$ グロブリン大量投与後の生ワクチンは、6ヶ月以上 ・専門医と相談